

スポーツ庁「2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業」(29年度)
中学校タグラグビー導入モデル事業 実施要項(案)

1 事業目的

中学校の学習指導要領解説に例示された「タグラグビー」を教育的価値が高い教材として保健体育の授業にスムーズに導入できるよう、中学校保健体育教員に対し、指導方法・評価基準などの研修を行い、中学校年代へのラグビー競技の普及拡大を図る。

2 事業概要

(1) 名称: スポーツ庁「2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業」(平成29年度)
中学校タグラグビー導入モデル事業

(2) 主催: スポーツ庁

(3) 主管: (公財) 日本ラグビーフットボール協会

(4) 日時: (調整中) 平成30年2月25日(日) 9:00~14:00

(5) 場所: 大分市立明野北小学校

(6) 対象: 中学校保健体育専科教員や中学校教員を目指す学生等

(7) 内容: タグラグビーティーチャー研修

・講義『中学校の体育学習におけるタグラグビーの可能性』(30分)

①小学校におけるタグラグビーの普及状況とその背景

②中学校学習指導要領との関係

③タグラグビーの魅力 等

・実技『中学校の体育授業におけるタグラグビーの指導方法』(90分)

①準備運動としての遊び

②単元前半のゲームと指導のポイント

③単元後半のゲームと指導のポイント

④単元後半のゲームと指導のポイント

⑤戦術の紹介と練習

・質疑応答(10分)

(8) 講師: 日本協会および県協会から講師を派遣

(9) 受講料: 無料

(10) 申込方法: 大分県ラグビーフットボール協会 担当者へ直接申し込む

(11) 持ち物: 筆記用具、運動のできる服装、体育館シューズ

3 担当者連絡先

大分県ラグビーフットボール協会 普及育成委員会 委員長 上田雄一

住所: 〒870-0268 大分市大字政所 2602-12 大分市立大在中学校内

電話番号: 097-592-0024 携帯: 090-7926-5454

【以下参考資料】平成29年3月公示の中学校学習指導要領 保健体育科解説から

《内容の取扱い》抜粋

(2)内容の「A体づくり運動」から「H体育理論」までに示す事項については、次のとおり取り扱うものとする。オ「E球技」の(1)の運動については、第1学年及び第2学年においては、アからウまでを全ての生徒に履修させること。第3学年においては、アからウまでの中から二を選択して履修できるようにすること。また、アについては、バスケットボール、ハンドボール、サッカーの中から、イについては、バレーボール、卓球、テニス、バドミントンの中から、ウについては、ソフトボールを適宜取り上げることとし、学校や地域の実態に応じて、その他の運動についても履修させることができること。なお、ウの実施に当たり、十分な広さの運動場の確保が難しい場合は指導方法を工夫して行うこと。…略…

なお、取り扱う運動種目は、「ゴール型」については、バスケットボール、ハンドボール、サッカーの中から、

…略…なお、学校や地域の実態に応じて、ラグビーなどの運動についても履修させることができることとしているが、原則として、その他の運動は、内容の取扱いに示された各運動種目に加えて履修させることとし、学校や地域の特別の事情がある場合には、替えて履修させることもできることとする。

※ 上記下線部により、中学校保健体育科の授業でラグビーを教材として扱うことが可能になりました。バスケットボール・ハンドボール・サッカーを授業で扱ったうえで、それに加えてラグビーを指導することができる…ということです。

しかし、現状は、授業での指導ができるだけの知識や指導技能を有している保健体育科教員は非常に少数です。来年度以降、県教委主催の実技講習会が行われる可能性もありますが、RWC2019以後はどのような位置づけで講習会が行われるかは不明です。このままでは、学校現場での授業で扱われる機会は少ないことが予想されます。

そこで、RWC2019を追い風にして普及育成の観点から少しでも早く、1校でも多く、授業で取り扱っていきえるようにするために、今回の講習会を実施したいと考えます。県協会として、県内各地域にいる中学校や高校の保健体育科の先生方に、一人でも多く参加していただくように働きかけていただくようお願い致します。

なお、クラブ・社会人チームに所属している方も「可」とします。「ほとんどラグビーやラグビーをしたことがない中学生を対象」にした授業を行うという視点で講習会を行いますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

学校現場で扱う機会が増えれば、将来的に大分県の中学校ラグビースクールや高校ラグビー部への加入数が増えることも期待できます。その第一歩に今回の講習会をしたいと思います。ご協力をお願いします。

普及育成委員会 委員長 上田雄一